【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第４区分
【発行日】平成17年7月14日(2005.7.14)

【公開番号】特開2003-145943(P2003-145943A)
【公開日】平成15年5月21日(2003.5.21)
【出願番号】特願2001-352347(P2001-352347)
【国際特許分類第７版】
　Ｂ４１Ｍ　5/26
　Ｇ１１Ｂ　7/24
【ＦＩ】
　Ｂ４１Ｍ　5/26　　Ｘ
　Ｇ１１Ｂ　7/24　　５１１
　Ｇ１１Ｂ　7/24　　５２２Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成16年11月16日(2004.11.16)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　透光性基板表面に少なくとも光透過性金属薄膜と低融点薄膜を有し、該光透過性金属薄膜が、元素周期表ＩＢ族から選択される少なくとも１種の元素を主成分とし、該低融点薄膜が、IIIB、IVB、ＶB、VIB族から選択される少なくとも１種の元素を主成分とすることを特徴とする光記録媒体。
【請求項２】
　光透過性金属薄膜の透過率が該薄膜単独で２０％以上となるような膜厚に設定することを特徴とする請求項１記載の光記録媒体。
【請求項３】
　光透過性金属薄膜の融点を低融点薄膜の融点よりも高くしたことを特徴とする請求項１又は２記載の光記録媒体。
【請求項４】
　低融点薄膜上に有機保護膜を有することを特徴とする請求項１乃至３の何れか１項に記載の光記録媒体。
【請求項５】
　（光透過性金属薄膜の膜厚）／（低融点薄膜の膜厚）が０．０６～１．０の範囲にあることを特徴とする請求項１乃至４の何れか１項に記載の光記録媒体。
【請求項６】
　光透過性金属薄膜の膜厚が３０～２００Åであることを特徴とする請求項１乃至５の何れか１項に記載の光記録媒体。
【請求項７】
　低融点薄膜の膜厚が２００～５００Åであることを特徴とする請求項１乃至６の何れか1項に記載の光記録媒体。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更

【補正の内容】
【０００７】
【課題を解決するための手段】
上記課題は、次の１）～７）の発明（以下、本発明１～７という。）によって解決される。
１）　透光性基板表面に少なくとも光透過性金属薄膜と低融点薄膜を有し、該光透過性金属薄膜が、元素周期表ＩＢ族から選択される少なくとも１種の元素を主成分とし、該低融点薄膜が、IIIB、IVB、ＶB、VIB族から選択される少なくとも１種の元素を主成分とすることを特徴とする光記録媒体。
２）　光透過性金属薄膜の透過率が該薄膜単独で２０％以上となるような膜厚に設定することを特徴とする１）記載の光記録媒体。
３）　光透過性金属薄膜の融点を低融点薄膜の融点よりも高くしたことを特徴とする１）又は２）記載の光記録媒体。
４）　低融点薄膜上に有機保護膜を有することを特徴とする１）乃至３）の何れか１項に記載の光記録媒体。
５）　（光透過性金属薄膜の膜厚）／（低融点薄膜の膜厚）が０．０６～１．０の範囲にあることを特徴とする１）乃至４）の何れか１項に記載の光記録媒体。
６）　光透過性金属薄膜の膜厚が３０～２００Åであることを特徴とする１）乃至５）の何れか１項に記載の光記録媒体。
７）　低融点薄膜の膜厚が２００～５００Åであることを特徴とする１）乃至６）の何れか１項に記載の光記録媒体。